



移動手段に係る情報をご覧になっていかがでしたでしょうか？

高齢になるといつ運転できなくなるかわかりません。もしかしたら、もう運転に不安を感じているのかも。

マイカーが運転できなくなる前にマイカー以外の移動手段を提案してみませんか？

時間に余裕のあるとき、
天気が悪い日や、夜の運転になるとき、
ご友人やご家族とちょっと遠出したいとき、
バスや列車、タクシーに乗ってお出かけしませんか？

家族の幸せを考える時
そのヒントは公共交通を使う
暮らしの中にあるのかもしれない。



家族で考える かしこいクルマの 使い方



【発行・お問合せ】

国土交通省 北海道運輸局 交通政策部 交通企画課 TEL:011-290-2721 FAX:011-290-2716



家族の移動手段を考えることは
家族のしあわせを考えることです



あなたは買物や通院などでお出かけするとき
バスに乗りますか？タクシーに乗りますか？

もしかして高齢ドライバーのマイカー送迎に
頼っていませんか？



家族の毎日を支えてくれる便利なマイカーですが
明日の悲しみと隣り合わせかもしれません。

マイカーに依存しなくても
家族みんなが快適な生活を送るために



一人ひとりの移動手段について
ご家族で話し合う機会をつくってみませんか？



バス・汽車・徒歩で 「地元をますます好きになる」 かもしれない

自分の住んでいる地元をよりよくするためには、地元への愛(地域愛着)が重要だといわれています。

ある研究報告では、地域愛着がどのように醸成されるかを調べたところ、**クルマばかり使う人は地域愛着がやすい**傾向にあることが示されました。



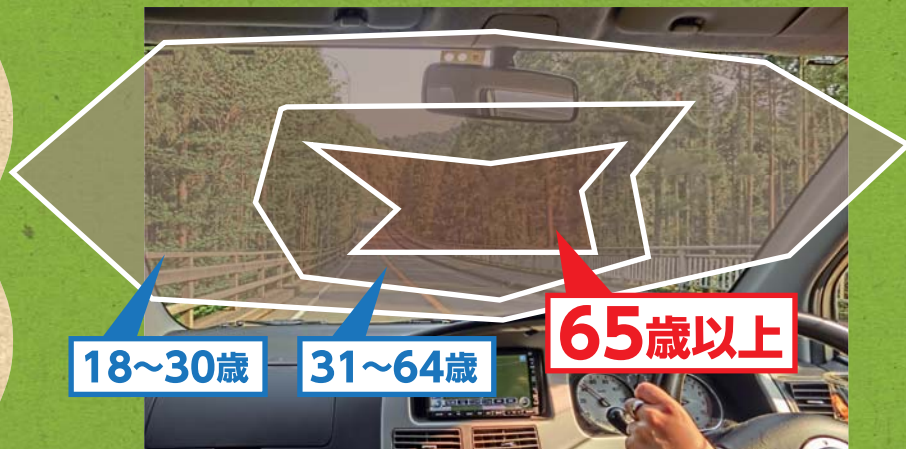
釧路港

※出典：鈴木春菜・藤井聡「地域愛着が地域への協力行動に及ぼす影響に関する研究」
土木計画学研究・論文集, 25 (2), pp. 357-362, 2008

実はせまくなっている あなたの視野！

運転に必要な情報の約80%は目から。
有効視野の狭い高齢者による運転は
大変危険です。

年齢による有効視野の変化(走行中)



18~30歳

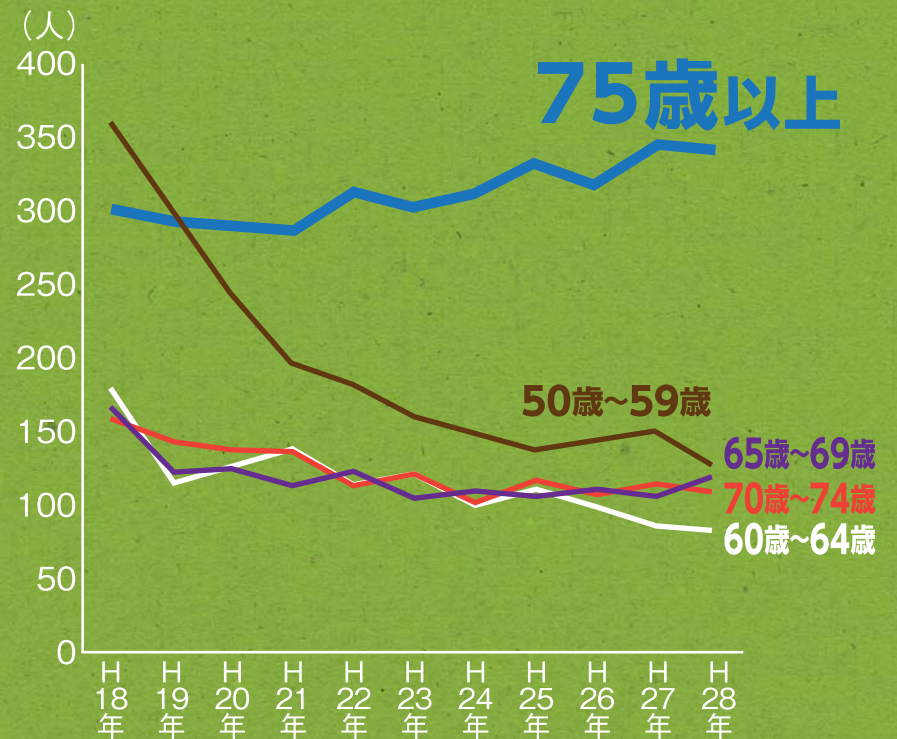
31~64歳

65歳以上

※出典:クローズアップ現代+, 愛知工業大学 石垣尚男教授ヘルシスト156号より

75歳以上の 交通事故死者数が増加!

日本の交通事故は減少傾向にあります。
でも**75歳以上の運転中の交通事故死は
増加**しているのが実状です。



※出典:警察庁HP

「気が付いたら 事故を起こしていた…」 増える高齢者の危険運転

2018年1月9日、登校中の女子高生二人が乗用車には
ねられ重体に。**運転していたのは85歳男性。**
事故原因は未だにはっきりとしておらず、男性は「**気が
付いたら事故を起こしていた**」とコメントしています。
男性はこれまで家族に免許返納を再三求められており、
**事故当日も「車で出かけないで」と運転を止められ
ていた**そうです。

(2018年1月10日 産経ニュースより)

クルマは便利な道具ですが、**凶器にも**なり得ます。
クルマ社会では事故をゼロにすることは難しいのが現状です。

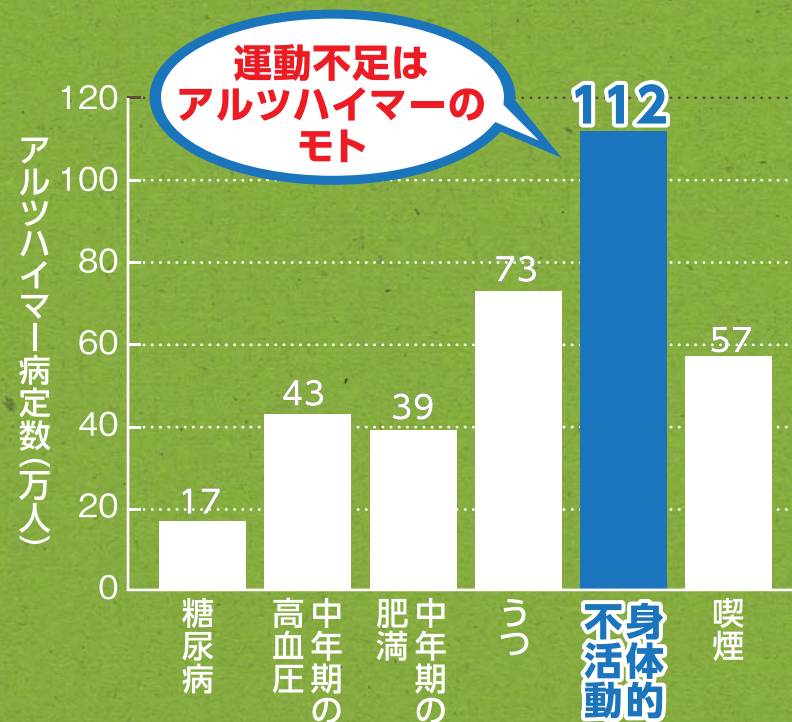
ご家族、お孫さん、ご友人達...
大事な人たちのことを考えてみてください。
それでもクルマを使い続けますか？



※出典：群馬県警察HP「交通事故犠牲者の手記」
<https://www.police.pref.gunma.jp/koutuubu/01kouki/syuki.html>

カラダを動かすと アルツハイマー予防に！

バスや列車は知らず知らずのうちに
カラダを使うのでオススメ。



※出典：筑波大学大学院 久野譜也教授「健康寿命延伸に寄与するまちづくり」
(Barnes DE.Lancet Neurol 2011.より改変して作図)